

開催順	開催年度	同和暦	会期	大会長	所属	会場・開催地	「大会テーマ」
1	1993	H05	1993.7.7-8	池上晴夫	筑波大学	つくば市	-
2	1994	H06	1994.7.22-23	伊藤 稔	天理大学	天理市	-
3	1995	H07	1995.5.13-14	永田 晟	早稲田大学	新宿区西早稲田	-
4	1996	H08	1996.7.30-31	北川 薫	中京大学	名古屋市	-
5	1997	H09	1997.7.17-18	竹宮 隆	筑波大学	つくば市	-
6	1998	H10	1998.7.11-12	進藤 宗洋	福岡大学	福岡市	-
7	1999	H11	1999.10.9-11	大築 立志	東京大学	目黒区駒場	-
8	2000	H12	2000.7.26-28	金子 公宵	大阪体育大学	大阪府泉南郡熊取町	-
9	2001	H13	2001.7.31-8.1	中野 昭一	日本体育大学	横浜市青葉区	-
10	2002	H14	2002.7.25-27	芳賀 脩光	筑波大学	つくば市	-
11	2003	H15	2003.8.2-3	宮村 実晴	名古屋大学	名古屋市	-
12	2004	H16	2004.7.31-8.1	青木 純一郎	順天堂大学	印西市	-
13	2005	H17	2005.7.30-31	駒林 隆夫	武蔵丘短期大学	目黒区大岡山	-
14	2006	H18	2006.7.29-30	渡部 和彦	広島大学	東広島市	-
15	2007	H19	2007.7.25-27	吉岡 利忠	弘前学院大学	弘前市	-
16	2008	H20	2008.8.2-3	中谷 昭	奈良教育大学	奈良市	-
17	2009	H21	2009.7.25-26	鈴木 政登	東京慈恵会医科大学	港区西新橋	-
18	2010	H22	2010.7.31-8.1	徳田 修司	鹿児島大学	鹿児島市	-
19	2011	H23	2011.8.25-26	的場 秀樹	徳島大学	徳島市	「分析と統合の推進による運動生理学の発展」
20	2012	H24	2012.7.28-29	西平 賀昭	筑波大学	つくば市	「深めよう、広げよう運動生理学の魅力」
21	2013	H25	2013.7.27-28	碓井 外幸	東京国際大学	川越市	「最新運動生理学 ～スポーツと健康増進医科学への応用～」
22	2014	H26	2014.7.19-20	小野寺 昇	川崎医療福祉大学	倉敷市	「運動と生理学の温故知新」
23	2015	H27	2015.7.25-26	清田 寛	日本体育大学	世田谷区深沢	「スポーツ科学と実践の融合を目指して」
24	2016	H28	2016.7.23-24	井福 裕俊	熊本大学	熊本市	「熊本・九州からの発信」
25	2017	H29	2017.7.29-30	田中 英登	横浜国立大学	横浜市保土ヶ谷区常盤台	「国際都市横浜からの発信」
26	2018	H30	2018.7.28-29	梅林 薫	大阪体育大学	大阪府泉南郡熊取町	「エビデンスに基づく運動生理学実践」
27	2019	R01	2019.8.23-24	船瀬 広三	広島大学	東広島	「運動生理学の原点から未来を展望する」
28	2020	R02	2021.3.5-6	奥本 正	名桜大学	那覇市	「21世紀の運動生理学を沖縄・やんばるから考える」
29	2021	R03	2021.8.20-21	北 一郎	東京都立大学	八王子市南大沢	「科学的視点から人間の生存力向上を目指す」
30	2022	R04	2022.8.25-26	鈴木 淳一	北海道教育大学	北海道岩見沢市緑が丘	「身体運動の多様な可能性を発信する」
31	2023	R05	2023.8.23-24	武政 徹	筑波大学	つくば市	「アスレチコオミックス研究の黎明」
32	2024	R06	2024.8.22-23	増田和実	金沢大学	金沢市	「未来社会へ向けた運動生理学の先鋭と融合」
33	2025	R07	2025.7.12-13	八田有洋	東海大学	平塚市	「ウェルビーイングとコンディショニング」
34	2026	R08	2026.8.20-21	足立哲司	大阪体育大学	大阪府泉南郡熊取町	「求められるエビデンス、エクスペリエンス(案)」